

■『特高警察関係資料集成』収録史料一覧■

※史料収集の都合により、一部変更になる場合があります。

1. 共産主義運動（国内・国外）

番号	史料名称	作成年月日	作成者	原本頁数	巻数	頁数
1-1	特別要視察人近況概要	1919.1	警保局	104コマ	①	314
1-2	本邦社会主義者ト露国過激派トノ関係	1922.1	警保局	10コマ		
1-3	本邦社会主義者ト露国過激派トノ関係 参考書類	1922.1	警保局	22コマ		
1-4	赤化運動ノ実例	1922.1	警保局	18コマ		
1-5	秘密結社日本共産党一派ノ運動計画及予算	1922.1	警保局	5コマ		
1-6	本邦社会主義運動概観	1924	警視庁	35頁		
1-7	社会主義運動ノ新傾向	1924.5	警視庁	30頁		
1-8	最近社会主義並社会運動ノ概況	1925.6	警保局	110丁		
1-9	全日本無産青年同盟ノ運動（第一編）	1926.1	警保局	83丁		
1-10	全日本無産青年同盟ノ運動（第二編）	1926.3	警保局	141丁		
1-11	社会主義運動並社会運動ノ概況	1928.1	警保局	83枚	②	472
1-12	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書	1928.2.11	警視庁	458頁		
1-13	日本共産党ノ創立並ニ其行動ノ概要	1928.3	警視庁	7丁	③	484
1-14	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書 追加第一	1928.3.3	警視庁	312頁		
1-15	秘密結社日本共産党事件捜査顛末書 追加第二	1928.3.10	警視庁	80枚	④	384
1-16	労働農民党ノ組織及其ノ後ノ経過 日本労働組合評議会ノ成立ト其ノ後ノ経過 日本無産青年同盟組織及其ノ後ノ経過	1928.3	警保局	約100コマ		
1-17	北海道ニ於ケル 日本共産党事件顛末	1928.4.30	北海道庁	274頁		
1-18	秘密結社日本共産党事件ノ概要	1928.6	警保局	126枚		
1-19	社会主義運動	1929	埼玉県	110頁	⑤	344
1-20	秘密結社日本共産党再組織運動関係者検挙概況	1929.6	警保局	31枚6表		
1-21	最近ニ於ケル日本共産党ノ運動並検挙ノ状況	1930.6	警保局	275頁		
1-22	プロレタリア文化運動と日本プロレタリア文化連盟	1932.12	警保局	54頁		
1-23	日本共産党検挙関係特殊事項	1933.1	警保局	12頁		
1-24	共産主義運動対策ニ関スル意見要旨	1933.5	警保局	60頁		
1-25	共産主義運動概観	1933.	警保局	200頁		
1-26	日本労働組合全国協議会一斉検挙の概要	1933.	警保局	28枚		
1-27	日本共産党「リンチ」事件の概要	1934.1	警保局	12頁		
1-28	共産主義者の転向方策（未定稿）	1934~35	警保局	30頁		
1-29	凋落期にある共産主義運動に対して	1935	警保局	30頁		
1-30	共産党再建グループ其他ノ検挙ニ関スル件	1936.8.10	警視庁	43枚		
1-31	所謂人民戦線運動ノ状況	1936.8.16	警保局	10枚		
1-32	最近に於ける共産主義運動の動向と其の危険性	1937.3	大阪府	72頁		
1-33	文化運動関係被疑事件概況	1942.2.24	長野県	41頁	⑥	500
1-34	九州各府県特高課々僚会議ニ於ケル体験談	1942.9	?	70頁		
1-35	特高資料第二輯「共産主義運動ノ視察取締ニ就テ」	1942.12	長野県	66頁		
1-36	最近の左翼事件に鑑み注意を要する事項	1943.11	警保局	18枚		
1-37	終戦に関する共産主義分子の動向並意嚮に就いて	1945.8~9	警保局	8頁		
1-38	左翼分子の動向	1945.8~9	警保局	10頁		
1-39	在米邦人社会主義者ノ状況	1909.4	警保局	15丁		
1-40	米国ニ於ケル日本人社会主義者無政府主義者沿革	1911.7	警保局	206丁	⑥	500
1-41	米国在留特別要視察人ノ状況大要	1918.1	警保局	20丁		
1-42	在外邦人過激主義者ノ状況	1922.7	警保局	15丁		
1-43	露国ヨリ帰還ノ邦人共産党員調	1925.12	警視庁	124枚		

2. 無産政党運動

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
2-1	無産政党組織運動ノ顚末（未定稿）	1925.11	警保局	182頁	⑦	364
2-2	農民労働党禁止ニ対スル各方面ノ意嚮感想（未定稿）	1926.1	警保局	350頁		
2-3	無産政党組織運動の沿革 全	1926.3	警視庁	359コマ		
2-4	日本農民党創立運動ノ顚末	1926.10	警保局	17丁		
2-5	労働農民党一派ノ 議解散其ノ他ノ請願運動ノ状況	1926.11	警保局	39丁		
2-6	結社労働農民党並其ノ他ノ無産政党ニ関スル調査	1926.12	警保局	113丁	⑧	348
2-7	地方無産政党ノ概況	1926.12	警保局	56丁		
2-8	昭和二年中ニ於ケル 無産政党運動ノ状況	1927.12	警保局	319コマ		
2-9	新成政党運動の概況	1928	警保局	10丁		
2-10	香川県ニ於ケル労働農民党ノ衆議院議員選挙運動及其後ノ情况並ニ之ニ対スル警察措置	1928.4	警保局	21丁		
2-11	無産政党運動	1929	埼玉県	40頁		
2-12	無産政党綱領政策宣言集（付録）無産政党沿革概要	1933.10	警保局	108コマ		
2-13	新党準備会結社禁止理由	1940.4	警保局	50コマ		

3. 労働運動

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
3-1	労働争議概況	1917	警保局	活77頁	⑨	504
3-2	労働争議の概況	1919.12	警保局	94頁		
3-3	労働団体ノ概況	1921.1	警保局	72丁		
3-4	労働争議ノ概況	1921.1	警保局	80丁		
3-5	大正十年労働運動概況	1922	警保局	活116頁		
3-6	労働団体ノ概況（其ノ二）	1922.1	警保局	29丁		
3-7	労働争議ノ概況（其ノ二）	1922.1	警保局	9丁		
3-8	労働・農民・水平社団体系統調（「労働」の部のみ）/主要労働団体表	1927.1	警保局	6丁		
3-9	野田醤油株式会社 労働争議概況	1928.4	警保局	55丁		
3-10	合資会社山一林組製糸工場 労働争議概況	1928.4	警保局	25丁		
3-11	我国に於ける労働運動の現状	1929.2	司法省刑事局	活41頁		
3-12	本道に於ける左翼労働組合運動沿革史	1931.2	北海道庁	274丁		
3-13	全協再建後ノ状況	1932.6	警視庁	38コマ		
3-14	労働運動並びに労働争議の状況及びこれが取締対策	1933.2	警保局	17コマ		

4. 農民運動

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
4-1	農業争議概況	1921.2	警保局	25頁	⑩	406
4-2	農業争議警察取締状況	1921	警保局	20頁		
4-3	小作問題発達ノ条件	1921.4	岐阜県警察部	450頁		
4-4	小作問題解決策	1921.4	岐阜県警察部	410頁		
4-5	農業争議概要	1922.1	警保局	10頁		
4-6	最近ニ於ケル農業争議実況概要（続）	1922.1	警保局	35頁		
4-7	大正十年府県別農業争議（特異事項掲載）状況	1922.1	警保局	135頁		
4-8	小作問題篇 其一	1922.5	岐阜県警察部	450頁		

4-9	小作問題篇 其二	1922.5	岐阜県警察部	500頁	⑪	422
4-10	大正十一年ノ農業争議件数ニ就テ	1923.1	警保局	15頁		
4-11	最近ニ於ケル本邦農民運動概況	1925.1	警保局	79丁+7表		
4-12	最近ニ於ケル本邦農民運動概況 補遺	1925.1	警保局	20丁		
4-13	日本農民組合内部動揺ノ顛末	1926.5	警保局	22丁		
4-14	農民運動取締ニ関スル件	1926.8	警保局	40頁		
4-15	労働・農民・水平社団体系統調（「農民」の部のみ）	1927.1	警保局	10頁		
4-16	農民運動戦線ノ分裂	1927.5	警保局	110頁		
4-17	大正十五年以降ニ於ケル主ナル小作争議ノ状況	1927	警保局	65頁		
4-18	宮城県桃生郡前谷地村小作争議ノ概況	1928.4	警保局	7丁		
4-19	農村救済運動ノ状況	1932.7	警保局	160頁		
4-20	農山漁村救済運動ノ状況	1932.8	警保局	活 78頁		
4-21	小作争議並びに農民運動の状況、取締対策	1933.2	警保局	16コマ		
4-22	最近の農村情勢と警察活動の概況	1936.1	警保局	237頁		
4-23	事变下農村諸情勢	1939.6	警保局	62コマ		

5. 水平運動・在日朝鮮人運動

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
5-1	差別撤廃運動状況	1922.5	警保局	24頁	⑫	300
5-2	水平社運動情況	1922.12.5	警保局	120頁		
5-3	最近ニ於ケル水平運動	1927.1	警保局	46頁		
5-4	労働・農民・水平社団体系統調（「水平社」の部のみ）	1927.1	警保局	5頁		
5-5	朝鮮人情報 第一号	1922.1	警保局	46丁		
5-6	朝鮮総督府通報 朝鮮内外ニ於ケル情報	1922.1	警保局	8丁		
5-7	国外在住朝鮮人情況	1922.5	警保局	11丁		
5-8	内地在留朝鮮人ノ最近ニ於ケル一般情況	1922.12	警保局	27丁		
5-9	義烈団一派ノ凶暴計画概要	1924.1.12	警保局	24丁		
5-10	最近ニ於ケル在留朝鮮人情況	1925.1	警保局	70丁+2表		
5-11	樺太在留朝鮮人一斑	1927.10	樺太庁警察部	273P+表		
5-12	外桜田町ニ於ケル李奉昌不敬事件顛末	1932.5	警保局	37頁		
5-13	上海ニ於ケル尹奉吉爆弾事件顛末	1932.7	警保局	40頁		
5-14	所謂朝鮮人学校の概要	1936.9	警保局	39枚		
5-15	内外に於ける不逞鮮人の策動状況	1936.9	警保局	24枚		
5-16	居るぞ！ 不逞鮮人	1940.5	奈良県	26頁		

6. 国家主義運動

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
6-1	血盟団・兵農決死隊事件ノ概要	1932.7	警保局	55枚	⑬	418
6-2	五・一五事件後に於ける右翼不穏計画及びその研究情況	1933.2	警保局	10コマ		
6-3	五・一五事件被告減刑運動の概要	1933.8.15	警保局	20頁		
6-4	最近に於ける急進的国家改造運動の動向	1933.9	警保局	16頁		
6-5	警察賞与上申方ノ件	1934.7.11	警視庁	182枚		
6-6	昭和九年迄に於ける非合法的國家革新運動の概要	1935	警保局	374コマ		
6-7	叛乱事件通牒	1936.2～	警保局	370頁		

6-8	最近ニ於ケル右翼運動情勢	1936.12	警保局	207頁	⑭	280
6-9	政変を繞る右翼団体の運動	1937.4	警保局	373頁		
6-10	口演資料（国家革新運動関係）	1939.9	警保局	27コマ		
6-11	平沼國務相狙撃事件の概況並に国家主義運動の概況	1941.9	警保局	20コマ		
6-12	最近に於ける国家主義運動の情勢	1942.6.16	警保局	14頁		
6-13	戦時下ニ於ケル国家主義運動ノ取締方針	1942.7	警保局	45頁		
6-14	特高実務研究会速記録 右翼関係	1942.9	警保局	約 300頁		
6-15	昭和十六年十二月八日以後ニ於ケル国家主義団体ノ関係者ノ 不穩事件檢舉者及其ノ理由	1945.9.28	警保局	48コマ		

7. 外事警察関係

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
7-1	外国人取締概況	1920.1.15	警保局	10コマ	⑮	462
7-2	在留外国人並ニ之カ取締概況	1921.1.27	警保局	17コマ		
7-3	在留外国人概況	1921.12	警保局	150コマ		
7-4	外国人近況並ニ取締概況	1922.5	警保局	48コマ		
7-5	外国人近況並ニ取締概要	1922.11?	警保局	48コマ		
7-6	外事警察報 第一号	1927.5	警保局	150頁		
7-7	外事警察事務要覧 大正十五年度・昭和元年度	1927	警保局	156頁		
7-8	外事警察事務要覧 昭和二年度	1928	警保局	260頁		
7-9	第57回帝国議會説明参考資料 外事警察関係	1929	警保局	544頁	⑯	456
7-10	中国共産党 日本特別支部檢舉事件	1929.末	警保局	55頁		
7-11	昭和六年中に於ける外事警察概要	1932	警保局	644頁		
7-12	昭和七年中に於ける外事警察概要	1933	警保局	1,068P+表		
7-13	昭和八年中に於ける外事警察概要	1933	警保局	1,338P+表		
7-14	支那事変下ニ於ケル外事警察ノ一般情况	1939	神奈川県	59頁		
7-15	外事警察執務要覧	1941	警保局	185頁		
7-16	太平洋戦争勃発に伴う外事警察非常措置情况	1942.5	神奈川県	42頁	⑰	486
7-17	外事警察執務要覧	1943.8	警保局	111コマ		
7-18	欧州第二戦線結成ニ関スル各方面ノ意向（第一・二報）	1944.6	警保局	31頁		
7-19	終戦前後の外事一般情况	1945	警保局	30コマ		

8. 出版警察関係

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
8-1	最近ニ於ケル（自10月1日至1月17日）選挙法改正ニ関スル新聞 雑誌ノ論調	1919.1	警保局	14丁	⑱	458
8-2	選挙法改正問題ニ関スル新聞雑誌論調（其ノ二）	1919.2.9	警保局	16丁		
8-3	禁止出版物ニ現ハレタル記事概要（自大正六年一月至大正八年四月）	1919	警保局	37コマ		
8-4	出版物より観たる国民思想の変遷	1921.10	警保局	21コマ		
8-5	出版警察現況概要	1927.7	警保局	70頁		
8-6	特別議會資料 朴烈事件ニ関スル新聞紙出版物取締状況等	1927	警保局	230頁		
8-7	第58回特別議會答弁資料	1930.4	警保局	30頁		
8-8	第59議會答弁資料	1930.12	警保局	190頁		
8-9	出版物の激増と図書課の検閲組織	1932頃	警保局	5コマ		

8-10	共産主義関係出版物取締に関する意見要旨	1933.5	警保局	19頁		
8-11	第69回帝国議会説明資料	1936.5	警保局	110頁		
8-12	最近ニ於ケル出版界ノ傾向	1939	警保局	13頁		
8-13	出版警察概況（「警察署長会議関係書類」の中）	1941.3	警視庁	20頁		
8-14	新聞紙等掲載制限事項調	1941	情報局・警保局	180頁		
8-15	国家総動員関係記事掲載禁止事項調	1942.1	情報局	22頁		
8-16	主要ナル記事編輯上注意事項調	1942.1	警保局	18頁		
8-17	昭和19年内地出版物取締状況（1～3月分）	1944	警保局	43頁		
8-18	昭和18年10月～19年3月 外事出版物取締状況	1944	警保局	18頁		
8-19	朝鮮出版警察概要	1934	總督府警務局	143頁		
8-20	昭和15年中に於ける朝鮮出版概要	1941	總督府図書課	121頁		
8-21	朝鮮内新聞雑誌発行状況ほか（第79回帝国議会説明資料の中）	1941.12	警保局	20丁		

9. 特高関係重要資料

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
9-1	所謂日比谷焼打事件の概況	1939.12	警保局	480頁	①⑨	500
9-2	大正二年二月騒擾事件記録	?	警視庁	126コマ		
9-3	所謂米騒動ニ関スル件	1918.	警保局	65コマ		
9-4	八月騒擾ト其善後策	1918.9	警保局	28コマ		
9-5	米価問題騒擾事件ト特別要視察人	1918.12.5	警保局	25コマ		
9-6	大正七年における所謂米騒動事件の概要	1939.12	警保局	422頁		
9-7	我国に於けるデモクラシーの思潮	1918.11	警保局	160頁		
9-8	非常時と思想対策	1934.1	奈良県	56頁	②⑩	330
9-9	特高警察草案	1940.	?	543頁		
9-10	特高警察に於ける視察内偵戦術の研究	1942.	大阪府	109頁		
9-11	特高警察実務必携	1945.	京都府	184頁		
9-12	御用船乗組船員の状況	1937.10	警保局	29頁		
9-13	思想問題に就て	1939.6	警保局	56コマ		
9-14	最近の治安状況に就て	1940.12	警保局	55コマ		
9-15	現下の治安状況に就て	1941.7	警保局	50コマ		
9-16	現下の治安状況に就て	1943.4	警保局	23コマ		
9-17	労働者生活実態並思想動向ニ関スル件	1943.	警視庁	21丁		
9-18	最近に於ける不敬、反戦反軍、其他不穩言動の状況	1945.8	警保局	29頁	②⑪	474
9-19	内務大臣答弁資料	1945.11	警保局	35頁		
9-20	満州国皇帝御来航ニ対スル特別警戒大綱	1935.2.15	神奈川県	114枚		
9-21	陸軍特別大演習地方行幸私服警衛員心得	1936.9	北海道庁	86頁		
9-22	秘密結社農村青年社事件に関する功績概要	1937.	長野県	20頁		
9-23	エスペラント運動の概況（上・下）	1937.4～6	警保局(?)	164頁		
9-24	第76回帝国議会参考資料＜経済警察＞	1941.1	警保局	80頁		
9-25	防諜講演資料	1941.4	警保局	47頁		
9-26	長野県社会運動史（正・続）	1939.2	長野県	1796頁		

10. 特高関係例規類

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
10-1	国事警察編	1886～94	警視庁	240頁	㉔	386
10-2	労働要視察人視察内規	1920	警保局	10頁		
10-3	例規（通牒）	1930 頃	警保局	580頁		
10-4	高等警察例規集	1935. 6	警視庁高等課	254頁		
10-5	普通要視察人視察内規	1935. 9	警視庁高等課	160頁		
10-6	出版警察執務心得	1935.12.13	北海道庁	218頁	㉓	500
10-7	特高警察例規（下巻）	1935 頃	山形県	1,010頁		
10-8	行政警察例規集	1936. 9	警保局	1,000頁	㉔	366
10-9	情報係執務内規	1936. 11	警視庁情報課	120頁		
10-10	特高警察例規集	1939. 4	警保局	730頁		
10-11	出版警察執務要綱	1939. 10	山形県	52頁		
10-12	防諜例規	1939	大阪府	150コマ		
10-13	外事警察例規	1944. 4. 14	北海道庁	265頁		

11. 特高関係各種会議

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
11-1	地方長官・警察部長会議関係書類	1934～43	警保局	326枚	㉔	460
11-2	署長・特高主任会議関係書類	1934～44	茨城県	615コマ		
11-3	特高主任会議議事録（其ノ二）	1939. 7	東京刑事地方裁判所検事局	74頁	㉔	246
11-4	昭和十五年度特高主任実務修習講義録	1940	〃	277頁		
11-5	中国・四国ブロック特高実務研究会	1942. 9	？	約100コマ		
11-6	特高課長ブロック会議説明資料	1943	警保局	210コマ		

12. 特高関係逐次刊行物

番号	史料名称	作成年月	作成者	原本頁数	巻数	頁数
12-1	普通選挙促進運動概況（9点）	1919～20	警保局	90丁	㉔	606
12-2	社会主義運動月(情)報 1, 2, 3, 4, 5 冊	1921～22	警保局	344頁		
12-3	反美濃部運動ノ概況 1～16	1935.3～9	警保局	1,046頁		
12-4	北支〔支那〕事変ニ関スル情報 其四, 六, 十三	1937.8～11	警保局	186丁		
12-5	特高月報（原稿）	1945	警保局	287枚		
12-6	思想旬報 1, 2, 3, 7, 31, 31別冊, 号外	1945. 7	警保局	20丁	㉔, ㉔	各420 ～430
12-7	特高指針10号	1945. 8. 1	警保局	16頁		
12-8	本邦労働運動月報 1921. 4～1922. 12	1921～22	警保局	1,706頁		
12-9	労働彙報 3～17号（9, 13号は欠）	1921～25	警視庁特高課	1,700頁	㉔	420

(第1卷 目次)

一—一	特別要視察人近況概要……………	1
一—二	本邦社會主義者ト露國過激派トノ關係……………	53
一—三	本邦社會主義者ト露國過激派トノ關係 參考書類……………	59
一—四	赤化運動ノ实例……………	71
一—五	秘密結社日本共產黨一派ノ運動計畫及予算……………	80
一—六	本邦社會主義運動概觀……………	83
一—七	社會主義運動ノ新傾向……………	92
一—八	最近社會主義並社會運動ノ概況……………	100
一—九	全日本無產青年同盟ノ運動(第一編)……………	155
一—〇	全日本無產青年同盟ノ運動(第二編)……………	198
一一一	社會主義運動並社會運動ノ概況……………	268